

ごみ・リサイクル通信

品川区清掃事務所

品川庁舎
☎ 3490-7051
FAX 3490-7041

リサイクル推進係
☎ 3490-7098
FAX 3490-7041

荏原庁舎
☎ 3786-6552
FAX 3783-5780

使用済みの蛍光灯は、資源として回収できます

蛍光管のガラスは断熱材に、口金部分はアルミとして再資源化されるほか、微量に含まれている水銀もリサイクルして有効活用することができます。

出し方 決められた日の朝8時までに資源回収ステーションへお持ちください

割れていない
蛍光灯



出し方

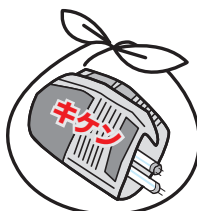


割れないよう紙でくるむか購入時の箱に入れ、資源回収ステーションに置くときは倒れないようにしてください。

割れた
蛍光灯



出し方



新聞紙等で包み「キケン」と書いてください。

資源回収ステーションでの回収にご理解・ご協力をお願いします。

2022年度版「資源・ごみの分け方・出し方」

品川区役所戸籍住民課、各地域センターにて転入手続きの際や、希望される方に配布しています。また、品川区清掃事務所の品川・荏原庁舎でも配布を行っています。ぜひご利用ください。

お問い合わせ 庶務係 ☎ 3490-7705

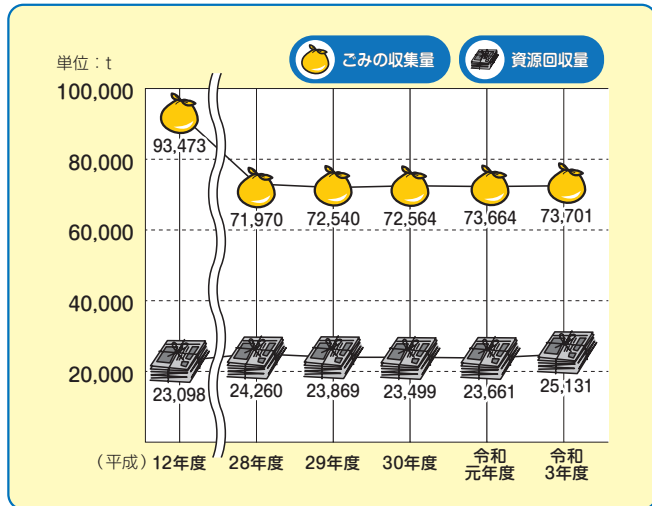


品川区の清掃・リサイクル事業

区では、清掃事業の主な取り組みとして、①住宅地での「ごみの各戸収集」②商店街地区の「ごみの早朝戸別収集」③古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、乾電池、蛍光灯、水銀体温計等の「資源のステーション回収」④古着等の「拠点回収」(区内31カ所)⑤古紙等の「集団回収」の支援⑥小型家電の回収等を行っています。

皆さんがごみとして出している物の中にも、資源として使えるものはたくさんあります。3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより一層意識して、持続可能(サステナブル)な社会を一緒に目指していきましょう。

● ごみ資源回収量推移表 ●



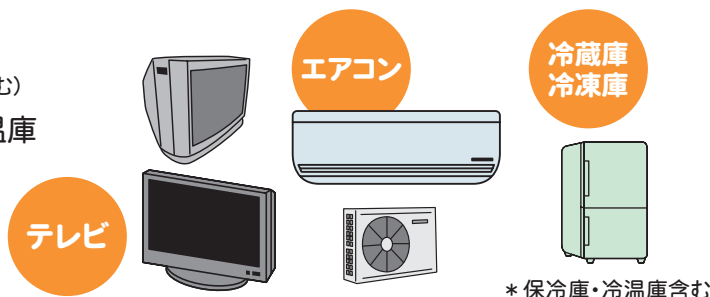
● 区民一人あたりのごみ量 ●

(令和3年度)

	ごみ収集量			資源回収量
	燃やすごみ	陶器・ガラス・金属ごみ	粗大ごみ	
総量	66,701 t	2,568 t	4,432 t	73,701 t
区民1人1年あたり	182 kg (令和2年度 188kg)			62 kg
区民1人1日あたり	499 g (令和2年度 514g)			170 g

家電(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)はメーカーがリサイクルします **区では回収できません**

- エアコン
- テレビ(ブラウン管・液晶・プラズマ含む)
- 冷蔵庫・冷凍庫・保冷庫・冷温庫
- 洗濯機
- 衣類乾燥機



令和4年5月30日から受付方法が変更になりました

〈処分方法〉

- 購入したお店、または買い替えをするお店に引き取ってもらう。
- 家電リサイクル受付センターに回収を申し込む ☎ **0570-087-200** (ナビダイヤル)
 電話受付 月曜日から金曜日 午前9時から午後5時 土・日・祝日・年末年始は休業
 インターネット受付 <https://kaden23rc.jp/>
- 指定取引場所に持ち込む ※必ず事前に下記連絡先に確認してから持ち込んでください。

指定取引場所	所在地	電話番号
岡山県貨物運送(株) 京浜支店	大田区平和島2-1-1 京浜トラックターミナル10号棟	03-3762-8261
(株)LNJ小泉 京浜島第二倉庫	大田区京浜島3-3-12	03-5755-9100

回収した資源に危険なものが混入しています

プラスチック製容器包装やペットボトルなどの回収物に、危険なものが混入しているケースが多発しています。

電池などは運搬中や工場での処理中に発火してしまう危険性があり、回収した資源だけではなく、車両や工場の火災にもつながる恐れがあります。資源の分別品目および回収方法について、今一度確認をお願いします。

はさみ・ドライバー・ペンチ



包丁



- はさみや包丁などの刃物は新聞紙等にくるんで「キケン」と表示して「陶器・ガラス・金属ごみ」に出してください。

電子体温計・電子基盤



空気入れ



- 一辺の長さがおおむね30cmを超えるものは「粗大ごみ」になります。粗大ごみ受付センターで回収の手続きを行ってください。

- 小型充電式電池は **区では回収しません**

充電式電池とは、充電すれば繰り返し使える電池です。デジタルカメラ、シェーバー、携帯ゲーム機、ビデオカメラ、電動歯ブラシなどに使われています。

充電式電池は機器から取り外して、お近くの電気店・スーパー・自転車店に設置されている「**充電式電池リサイクルBOX・缶**」に入れてください。

協力店など詳しくは一般社団法人JBRCまで

<https://www.jbrc.com> ☎ 03-6403-5673

ペットボトルは、キャップとラベルを外して出しましょう

リサイクルするためには、素材が同一であることが重要です。例えばペットボトル・キャップ・ラベルは同じプラスチックでもそれぞれ素材が異なります。きちんとリサイクルするためには分別して出すことが重要です。

さっとすすぎ、ペットボトルのキャップとラベルを外して資源回収ステーションに出してください。「キャップ」と「ラベル」もリサイクルすることができます。ペットボトルと分けて「プラスチック製容器包装」として中身の見える袋に入れて出してください。



注射針は区では回収できません

在宅医療により不要になった注射針を、ペットボトルに入れたり、アルミ缶等と一緒に資源回収ステーションに出される方が後を絶ちません。

処方された病院(薬局)に返却するか

使用済み注射針回収薬局

の看板のある薬局にお持ちください。

収集や中間処理施設で選別の際、**職員の手**に針が刺さる事故が起きています。**注射針は、未使用のものも含め、ごみや資源に出すことはできません。**



ペットボトルいっぱい詰められた注射針